

令和3年5月24日 教育委員会報告事項についての質疑応答（要旨）

（報告）

ア 令和3年度浜松市奨学生（継続貸与者）の選考結果について

※教育総務課就学支援担当課長から資料に基づき説明

（意見無し）

イ 令和3年度浜松市放課後児童会登録児童数及び待機児童数について

※教育総務課学校・地域連携担当課長から資料に基づき説明

（安田委員）箇所数が増えても待機児童数がなかなかゼロにならない。ゼロになる見通しはあるか。

（地域連携担当課長）全体の児童数の減少とともに待機児童数も減っていくのではないかと考えているが、ゼロになるにはもう少し時間がかかると思う。

（安田委員）箇所数を増やして努力している姿勢は認めてもらいたいと思う。

ウ 令和2年度「学校における働き方改革のための業務改善方針」取組状況について

※教育総務課長から資料に基づき説明

（神谷委員）教職員へのストレスチェックに関連して、教職員に対してセクハラ、パワハラ、いじめ等の調査は行っているか。

（教職員課長）教職員への調査は行っていないが、各学校からの報告にてパワハラが疑われ、教職員課として指導した事例が昨年度2件あった。また、ストレスチェックの中のハラスメントやストレスに関する項目の値が高かった学校4校には、管理職に対して職場改善や業務改善の指導をした。

（安田委員）タイムマネジメントを意識した働き方について、肯定的な意見が増えてきたことはとても良いと思う。ミライムでの出退勤時間管理は学校で徹底できているか。また、システムを導入して出退勤時間を管理するようになったことで、タイムマネジメントの意識が向上したと捉えてよいか。

（教職員課長）ミライムを使い教職員全員分の出退勤時間を教職員課にて把握しているため、時間外在校等時間、週休日勤務等、個人単位でデータを追うことができる。昨年度の時間外在校等時間は、前年度よりも小中学校平均で68時間ほど減っており、取組状況の成

果が出ていると言いたいところだが、中学校には部活動等により、月に 160 時間や 200 時間を超える者も数人いる。時間外在校等時間数が突出している者については、学校訪問等で管理職へ注意喚起している。

(安田委員) 打刻の機械はどこに置いてあるのか。

(教職員課長) 職員室や校長室等、学校によって様々だが、ほとんどの学校は職員室に置いてある。

(安田委員) 部活動を行う教員は、朝練後に職員室へ出勤し打刻したり、職員室を出るときに打刻し、その後夕練に参加して帰宅したりして、本来の勤務時間となっていないことはないか。

(教職員課長) 実態を把握するためのシステム導入であることは導入時に学校に説明しており、管理職にも正確な出退勤時間の報告を依頼しているため、そのようなことはないと考えている。

エ 令和 2 年度「はままつ人づくり未来プラン 教育の情報化編」取組状況について

※教育総務課長から資料に基づき説明

(田中委員) 「2-5 遠隔教育による学びの充実と学びの保障」に関連して、学校休校や不測の事態においても学びを止めない、学びを継続できる体制の構築をお願いしたい。

オ 令和 2 年度学校施設等の被害状況について

※教育施設課長から資料に基づき説明

(安田委員) 加害者が特定できないために市が約 36 万円の補修費用を負担したとのことだが、内訳はどのようなになっているか。

(教育施設課長) 補修費用が発生したものは 3 件あり、一番被害の大きいものは体育館のガラス破損により補修費用が 20 万円程度かかった。その他、格技場のガラス破損により 6 万円程度、2 万円程度の補修費用がかかった。

(安田委員) 石やブロックなどが故意に投げ込まれたということか。

(教育施設課長) 拳大サイズのコンクリート片が投げ込まれたようだ。

(黒柳委員) 監視カメラの設置は予定しているか。

(教育施設課長) 監視カメラの設置には1校あたり100万円以上の費用が想定され、被害件数が徐々に減っていることから、施設管理という点で、全学校への設置は現在のところ考えていない。今後被害が増えるようであれば、設置を検討したい。

(神谷委員) 不審者等への備えはどのように行っているか。

(教育施設課長) 市立幼稚園は監視カメラを設置している。小中学校は書類等の盗難防止のために警備会社の警備を導入しているが、機密資料の保管場所に限定し、学校全体には実施していない。

カ 令和2年度教職員の体罰・不適切な言動に関する調査結果について

※教職員課長から資料に基づき説明

(安田委員) 体罰の報告は、誰からの申告が多いか。また、体罰の具体的な内容はどのようなものか。

(教職員課長) 児童生徒からの申告が最も多い。実際に体罰に該当するかどうか判断してから集計しているため、実際の報告数は表の件数より多い。また、体罰の具体的な内容は、カッとして叩く、突き飛ばす、蹴る等が多く、数年前に度々報告されていた廊下に立たせる等の機会を奪う体罰は、今回報告されていない。児童生徒が友達に手を出したり、危ない所へ飛び出していったりするような状況で、手荒な止め方をしたために体罰として報告されるケースが最近増えてきたように感じる。

(安田委員) これは取扱いが難しいところである。物を持って暴れる児童生徒を羽交い絞めにして止めたことを体罰と言われてしまうと、もしかしたら他の子に危害を加えるかもしれないのにどのように止めたらいいのかと思ってしまう。

(教職員課長) 衝動的、発作的に危険な行動をとる子供達への関わり方については、教育総合支援センターの指導主事と連携しながら事例研修等を充実させてきた。首根っこを掴んだり、腕をねじり上げる等の止め方には問題があると思うため、教職員が萎縮せず適切な対応がとれるよう研修を行っていきたい。

(黒柳委員) 体罰の捉え方は人によって異なるため、どのような状況において体罰と捉えられたかを具体例で知ることは大事である。今後もケースメソッド研修をぜひ充実させてもらいたい。

キ 令和4年度採用(令和3年度実施)浜松市立小・中学校教員採用選考試験志願状況に

ついて

※教職員課採用管理担当課長から資料に基づき説明

(安田委員) 志願者数が増え、とてもうれしく思う。今後定員が決まるため、最終的な倍率はまだ出せないかもしれないが、昨年度の倍率はどのくらいだったか。

(採用管理担当課長) 昨年度は 4.2 倍であった。

(安田委員) 新聞で見たのだが、大都市圏は 2.6 倍、2.7 倍程度で人材集めに苦慮しているとのことだった。今回の結果は、教職員課を中心に頑張ってくれている証だと思う。特に大学等推薦特別選考は始まったばかりの制度だが、数に成果が表れていて良いと思う。また、不祥事により他の自治体で懲戒処分となった教員が、数年後に別の自治体で教員として復帰するということが最近よく聞かすが、そのようなことが無いよう気を付けていただきたい。

(神谷委員) 中学校体育の志願数が多いのはなぜか。志願数のバランスは例年通りなのか。

(採用管理担当課長) 例年、中学校体育と中学校社会、養護教諭の志願数が多く、中学校技術、中学校家庭の志願数が少ない。各教科バランスよく志願してもらうことが理想的だが、こちらで制御することは難しい。

(神谷委員) 中学校理科の志願数が少なく驚いた。

(安田委員) たしかに体育教員は非常に多い。水泳等命に関わる授業も多いため、体育教員は学校に欠かせない。また、体育免許取得者の就職先が限られているのも、志願数増の要因かもしれない。逆に理科免許取得者等は、就職先が多いのかもしれない。数学教員が理科の副免を持っているということがよくあるが、体育教員も何か副免を持っていると配置を考える上でとても有難い。特に少人数の学校等では、1人の教員が複数免許を持っていることはとても役に立つと思う。大学訪問等でぜひ伝えていただきたい。

(田中委員) 県外からの志願数が増えているが、県外の大学訪問等、働きかけの成果と捉えてよいか。

(採用管理担当課長) 県外の中でも東海三県からの志願数が増えているのは、大学訪問やガイダンス等で浜松市の教員としての魅力を伝えてきた結果だと思う。また、大学推薦特別選考でも東海三県の大学からの出願数が増えている。

ク 令和 2 年度問題行動、不登校及びいじめの実態について

※指導課長から資料に基づき説明

(鈴木委員) 問題行動の窃盗に関して、被害回復はどのように行っているか。また、粗暴に関してケガ人が出ているか、出た場合どのように対応しているか。

(指導課長) 窃盗に関しては万引きの案件が多い。本人への事実確認の後、保護者へ報告し返品や支払等を行っている。また、粗暴に関しては生徒間暴力が多く、ケガの具合により病院へ連れて行ったりしている。

ケ 令和2年度園児・児童・生徒の交通事故状況と不審者情報について

※健康安全課長から資料に基づき説明

(黒柳委員) 交通事故が減少傾向にあるということで安心したが、最近、保護者の車から降りた後、車の陰から飛び出す子供の姿を度々目撃し危険だと思った。雨の多い季節になり、保護者の送迎が増える時期になるため、ぜひ注意喚起していただきたい。また、警察等から不審者情報の連絡メールがくるように登録・設定しているが、保護者の方に活用してもらえるよう周知していただきたい。

コ 令和2年度通学路整備要望調査について

※健康安全課長から資料に基づき説明

(意見無し)

サ 学校給食費の公会計化等について

※健康安全課長から資料に基づき説明

(安田委員) 持参米飯が廃止になることにより、1週間の献立のうち、米飯とパンの内訳は変わるか。

(健康安全課長) 現在業者と調整中であるが、できるだけ変えないようにしていきたいと考えている。

(安田委員) 委託炊飯と自校炊飯で副食にかける金額は変わるのか。

(健康安全課長) 多少変わるが、メニューによってもかかる金額は変わるため、1日単位ではなく、もう少し広い範囲で平均的になるよう調整する。

(安田委員) 食材はどこが調達するのか。

(健康安全課長) 全市分を一括で業務委託する予定である。

(安田委員) 献立作成は従来通り、学校や地区で行うのか。献立作成委員会は今後も続くのか。

(健康安全課長) 現在見直し中であり、地区ごとに統一した献立の作成を検討している。従来通り地域の特色が出るような献立作りをしていきたい。また、献立作成委員会は今後も継続する。

(安田委員) 今までは献立作成委員会が食材の調達を独自に行っていたが、今後は市が一括調達するということか。

(健康安全課長) 地元の食材が欲しい等、食材の希望を聞き取り、委託業者が調達することになる。

(安田委員) 学校等で柔軟に判断できた部分がなくなってしまう、不便になることがないよう、事業見直しを進めてもらいたい。

(健康安全課長) 栄養士等と話をしながら、よりよい形にしていきたい。

(安田委員) リクエスト給食や行事食など、献立作りに力を入れてもらっていたと思うため、良い所はぜひ残してもらいたい。

(黒柳委員) 長期欠席者への返金対応等は引き続き学校で行うのか。

(健康安全課長) 返金できる条件等を要綱で定め、市で対応していく予定である。